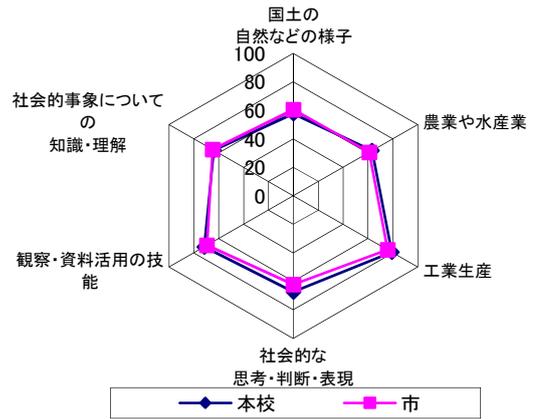


宇都宮市立豊郷中央小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	57.6	60.4
	農業や水産業	63.3	61.0
	工業生産	79.2	75.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.4	62.2
	観察・資料活用 of 技能	71.7	69.4
	社会的な事象についての知識・理解	63.9	65.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	○平均正答率は市の平均を2.8%下回っている。日本の国土と人々のくらしは、正答率52.5%で市と同じであった。世界の中の国土については、正答率64.0%であり、宇都宮市の70.3%を5.3%下回っている。	○国土の自然などの様子の学習では、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを広い視野から考えて理解できるようにする。 ○地図帳や地球儀を活用したり、調べて確認したことを白地図にまとめたりするなどの具体的な活動を多く取り入れながら、世界の中の日本の位置関係や特色を理解し産業に関する学習においても活用できるようにする。
農業や水産業	○平均正答率は市の平均を2.3%上回っている。日本の農業の正答率は70.3%で宇都宮市の62.7%を上回り、また、日本の食料生産の正答率は69.1%で宇都宮市の65.7%を上回った。日本の水産業については、正答率52.1%で市の平均の54.9%を2.8%下回っている。	○食料生産は、国民の食生活と密接なかかわりをもつことから、地形や気候などの自然環境や社会的条件を生かして生産を高める工夫や努力をしていることを具体的に調べ、理解を深めていくようにする。 ○地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用し、資料から必要な情報を読み取ったり、資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえたりするなど社会的な事象を具体的にとらえていくようにする。
工業生産	○平均正答率は市の平均を3.5%上回っている。自動車をつくる工業の正答率は83.4%で市の平均の80.3%を上回り、工業生産と工業地域の正答率は、72.8%で市の平均の68.8%を上回った。	○分布図や統計資料などの活用を図り、主な工業生産の種類、工業地帯や主な工業地域の分布、立地などを調べ、日本全体の工業生産の現状や特色を具体的にとらえ考えることができるようにする。 ○地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用していくことで、社会的な事象の意味について考える力や調べたことや考えたことを表現する力をつけていくようにする。